

## 後ろ身頃

補正原型を使用します。

- 1.着丈…W幅線から16cm下げて裾線を書き、その内側に4cmの縁編み丈をとります。
- 2.身頃…B幅線に2.5cmのゆりみを加えて身幅とし、そこから裾に向かってまっすぐに脇線を書きます。
- 3.肩線…S.Pを1cm上げてN.Pから肩線を書き直します。
- 4.袖ぐり…背幅線に1cmのゆりみを入れ、身幅と案内線で結び規定の袖ぐりカーブを書きます。肩先と直線で結びます。できあがりの線に沿って内側に2cmの縁編みの線を書き、寸法を測ります(27cm)。
- 5.後ろ衿ぐり…N.Pを3cmオフし、後ろ衿下がりは補正原型のまま、ゆるやかなカーブで結び寸法を測ります(9.3cm)。

## 前身頃

1~3は後ろ身頃と同じです。

- 4.袖ぐり…胸幅線に1cmのゆりみを入れ、身幅と案内線で結び規定の袖ぐりカーブを書きます。肩先と直線で結びます。できあがりの線に沿って内側に2cmの縁編みの線を書き、寸法を測ります(25.5cm)。
- 5.前衿ぐり…前衿下がりは原型から13cm下げたところを衿あき止まりとします。さらにV衿先の深さ分(衿丈×1.7=2cm×1.7)=3.4cmを下げ、N.Pから3cmオフしたところと案内線で結びます。2等分の位置で直角に1cmとり、そこを通る自然なカーブを書き寸法を測ります(23.5cm)。

1/4 縮図

